土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　　査　　名　砂防工事全体計画書作成業務

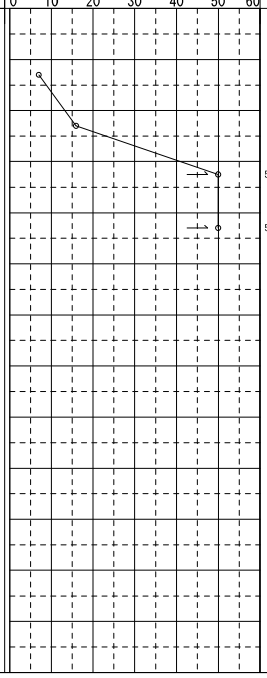
事　業　・　工　事　名

調査目的及び調査対象　砂防　構造物基礎

ボーリング名	Bor No.4-西ノ谷川補助基準点2	調査位置	広島県安芸郡海田町	北緯	34° 21′ 02.1988″
発注機関	広島県西部建設事務所	調査期間	令和4年 8月17日～ 令和4年 8月19日	東経	132° 33′ 12.4947″
調査業者名		主任技師		現場代理人 / コア鑑定者 / ボーリング責任者	
孔口標高	TP 195.85m	角度	180° 上 90° 下 0° / 0°	方向	北 0° 90° 東 180° 南 270° 西
総削孔長	8.00m	地盤勾配	47° 水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機：東邦D0 / エンジン：ヤンマーNS12 / ポンプ：東邦BG-3

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位／測定月日
1	194.55	1.30		砂質土		暗褐	rd2		砂は細～中砂を主体とする 上部は木根を多く含む 細粒土分を10%程度含有する	
2	193.85	2.00		砂		灰褐	rd2		中～粗砂を主体とする砂 花崗岩の強風化状を呈する	
3	192.50	3.35		花崗岩		灰褐			DL級岩盤 風化作用が著しく進行して土砂状を呈する 造岩鉱物は風化変質，変色している	
4	191.40	4.45		花崗岩		淡褐灰			DM級岩盤 風化が進行し撹乱すると土砂化する GL-3.40m付近は弱風化となり岩塊として残存する	
	191.10	4.75		花崗岩		淡褐灰			DH級岩盤　風化が進行し土砂～礫状コアで採取する	
5	190.55	5.30		花崗岩		淡灰			CM級岩盤　L=5～20cmの柱状コアで採取する	
6				花崗岩		淡灰			CH級岩盤 L=20～40cmの柱状コアで採取する コア肌は滑らか	
7									部分的にコア肌が粗くなりL=10cm以下の短柱状コアとなる	
8	187.85	8.00							亀裂面に沿って細礫化する	
9										
10										
11										
12										
13										

標準貫入試験



N値	深度 (m)	100mm毎の打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
7	1.15	2	2	3	7/300		
	1.45						
16	2.15	4	6	6	16/300		
	2.45						
50以上	3.15	7	43		50/200	200	
	3.35						
50以上	4.15	19	16	15/90	50/290	290	
	4.44						

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	削孔月日
				8/17
				8/18
				8/19